

## 平成 29 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

日 時：平成 29 年 10 月 26 日（木）14：25～16：31

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：5 名 島袋幸代（県立中部病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、平良芳子（県立八重山病院）、  
樋口美智子（那覇市立病院）、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、

欠席者：3 名 佐渡山英子（県立宮古病院）、島袋恭子（那覇市立病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、

陪席者：3 名 金城美奈子（県立八重山病院）、安里君代（地域統括相談支援センター）、山口元子（琉球大学医学部附属病院）

### 【報告事項】

#### 1. 平成 29 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 29 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

#### 2. がん患者ゆんたく会について（7～9 月）

資料 2-1、2-2、2-3 に基づき、7～9 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について報告があった。樋口委員よりゆんたく会へ参加する看護師をどのように確保しているのかと質問があり、県立中部病院は緩和ケアリンクナースや地域連携室、外来看護師、琉大病院は病棟師長に交代で委嘱しているのと緩和ケアの看護師をお願いしていると回答があった。那覇市立病院がゆんたく会を行う場所について質問があり、樋口委員より普段是那覇北保健センターで行っているが 8 月は 100 回記念だったため病院ロビーで行った。ただ那覇北保健センターは建て替えを予定しているため今後の開催場所を検討しているとのことだった。

#### 3. がん相談件数（7～9 月）

資料 3-1～3-7 に基づき、7～9 月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。北部地区医師会病院では、琉大病院から提供された集計様式に変更した。今まで 10 件前後だったが 7 月から 10 件を超えるようになってきた。新聞広報を見ての相談が増えた印象があり、就労相談も出てきているとのことだった。県立中部病院では、70～80 件で推移していたが 9 月は 38 件に減っている。がん専従相談員の他の仕事との兼ね合いや、相談自体が純減したのではないかと考えている。就労相談について、産業保健総合支援センターと協定を結んだが、まだ実績はない。また、院内からの指摘を受け、現在就労状態にない人向けのチラシも作成し、就労状態に関わらずがん相談支援センターで相談を受け付けていることを広報しているとのことだった。那覇市立病院は前回報告がなかったため、4 月から 9 月の報告があった。相談に対する評価の項目が統一様式と異なっており、様式の変更をシステムに依頼中である。院外からの相談が少ないが、9 月は新聞広報の影響で電話相談があった。院外からの相談が少ない要因として、セカンドオピニオンや受診相談は連携室に行くのでそれがカウントされていないことが挙げられる。また就労相談もあったとのことだった。県立宮古病院は紙面報告となった。月 3～4 件で推移している。県立八重山病院では、独自の様式を使用しているが、次回の報告からは統一様式への変更を検討している。緩和ケアリンクナース会でも相談件数を報告しており、看取りや緩和の相談が多い。純粋な窓口相談は少なく、外来で緩和ケアのスクリーニングを行っており、そこからつながった相談が窓口相談とカウントされることが増えている。相談支援センターの周知と共に院外からの電話相談が増えて

きているとのことだった。琉大病院は6月から9月の報告となった。毎月40件前後、多い時で50件前後で推移している。院外からの相談は10名程度で新聞広告によって相談件数が増える印象である。また、仕事に関する相談が増えてきている。専任相談員の確保と院内周知が課題であるとのことだった。沖縄県地域統括相談支援センターからはピアサポーターの活動件数の報告があった。月平均30件前後で、病棟のベッドサイドでの相談が多いが、5件から10件程度は相談室での対応や電話相談もある。紹介経路について質問があり、病棟からの依頼もあるが相談員が直接病棟に赴き、相談がないか聞くこともあるとのことだった。

4. 「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会 次期整備指針に関するWG」が作成して、「都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会」のメール会議にて承認され、同部会から、『がん診療提供体制のあり方に関する検討会 ワーキンググループ』へ提出された文書について 当日資料に基づき、大久保委員より報告があった。拠点病院の指針の見直しの時期ということで、ワーキンググループが立ち上がっており、増田委員が参加しているが、ある程度まとまったので親部会への報告が行われた。

#### 5. 患者サロンへのピアサポーター派遣事業について

資料4に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターより患者サロンへのピアサポーター派遣事業について報告があった。前回の本部会でゆんたく会へのピアサポーターの派遣について提案があり、了承されたのを受け、実施された事業についての報告である。那覇市立病院と県立八重山病院で事業を実施し、ピアサポーターの活動意欲につながったとのことである。那覇市立病院からは定期的に来れるピアサポーターがいたらぜひお願いしたいとのことだった。県立八重山病院からは、相談がなく本来のがんサロンの内容ではなかったが、八重山にはピアサポーターが5人おり、その方達の活動の勉強になったようである。また、相談を受けるためにリレーフォーライフに参加することにした方も2人いて、いい機会だったように思うとのことだった。事業は今年度中継続するとのこと、琉大病院、県立中部病院でも受け入れたいとのことだった。

### 【協議事項】

#### 1. 図書館まつり参加について

資料5に基づき、図書館まつりについて協議が行われた。大久保委員より会場、時間、来場者誘導の仕方、小冊子等を持参することが報告された。また、今回は記録シートを作らず相談件数の報告のみ行ったが、記録するシートが欲しいとの意見があり、相談記入シートを持参することになった。また、各自名札を持参することになった。

#### 2. 部会各事業について

(1) 【施策1】「地域の療養情報2017年版」の配布を行い、2018年版の作成協力する。

作成ワーキングに部会から推薦した仲宗根委員より、がん相談支援センターの紹介ページについて、部会委員との相談を経て、写真と紹介文を省きURLを掲載することにしたと報告があった。また、各拠点病院が産業保健総合支援センターと協定を結んだので就労のページも改定される旨情報提供があった。

(2) 【施策2】院内外の患者家族および地域住民に対し、チラシ配布やラジオ番組等で、広報を行う。

部会事務より、8月1日、24日、9月7日、10月12日の「週刊レキオ」にがん相談支援センターの無料広告が掲載されたことが報告された。樋口委員より、各市町村の広報誌へも情報掲載を依頼してはとの意見があ

った。

(3) 【施策 3】 患者サロン・患者会間の情報交換会を開催する。

大久保委員より、今年度は2月での開催を検討中と報告があり、内容についてアイデアがあれば教えて欲しいとの呼びかけがあった。

(4) 【施策 4】 就労支援に関する事例に関して、社会保険労務士等との研修会や意見交換会を開催する。

大久保委員より、11月開催は難しくなったがなるべく早い時期での開催を検討すると報告があった。協議の結果、両立支援促進員と相談員の相互理解ができるような内容で検討することになった。

(5) 【施策 5】 相談センター認知度調査をもとに、満足度調査表を作成する

調査表の作成のため、文献レビューと見本の調査表の集約を行うことになった。

(6) 【施策 6】 相談支援センターチェックリストを作成し、拠点支援病院で実施する

今年度も実施することになった。物証となる実績を示すため、相談シート内に相談員の自己評価を記入する欄を設けるなどの工夫が必要なのはとの意見があった。

(7) 【施策 7】 各拠点病院主催で年3回以上、がん相談員を対象とした研修会を開催する。

資料7に基づき、島袋部会長より10月21日に実施された平成29年度第1回沖縄県がん相談支援員実務者研修会「精神疾患とがん」について報告があった。今回は精神科病院にも案内し、臨床心理士などの参加もあった。反省点としてはグループディスカッションでファシリテーターを立てた方がよかった。アンケート結果は好評だったとのことである。12月16日開催琉大病院・県立八重山病院主催の「知的障害・発達障害とがん」研修会について、2月3日開催那覇市立病院・県立宮古病院主催の「認知症とがん」研修会について概要等を検討した。

(8) 【施策 8】 部会委員が相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

活動実績の報告について、実施した際は報告するよう呼びかけがあった。

(9) 【施策 9】 県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成し公開する。

部会事務よりセカンドオピニオンリストの情報更新を行った旨報告があった。また、現在セカンドオピニオンリストは各病院ごとにホームページに掲載されているが、特定の疾患のセカンドオピニオンリストも掲載した方が検索しやすいのではとの提案があり、了承された。また、現在ホームページに掲載されている病院のリストも、拠点病院や、専門病院群ごとに北から南に並べ直してはとの意見があった。県立八重山病院はセカンドオピニオンを現在受け入れておらず、受け入れに向けて準備を進めることになった。

### 3. その他

2月10日開催地域相談支援フォーラム in 大分について、沖縄の実行委員の選出を行った。那覇市立病院あるいは県立八重山病院が検討することになった。

仲宗根委員の産休に伴い、北部地区医師会病院の委員は10月末より交代との報告があった。

今回の相談支援部会は1月18日（木）開催となった。